



プレスリリース

速報版

GENIVI アライアンス、2012 年も強力な勢いを継続

会員数が160社を突破。10社目の自動車メーカーとなるボルボ社がアライアンスに加入。9つの適合製品が新たに承認。

米カリフォルニア州サンラモン、- 2012年3月5日- オープンソースの車載用インフォテインメント (IVI: In-vehicle Infotainment) のリファレンス・プラットフォームの開発と導入を推進する自動車および家電業界団体である GENIVI アライアンスは、2010 年末には 88 社であったグローバル会員の加入数が大幅に増加し現時点では 164 社に達したと本日発表しました。特筆すべきは、日本、中国、韓国から新しいメンバーが加入したことです。

「さらに多くの自動車メーカーやサプライヤーが技術努力を推し進め、プラットフォーム対応のソリューションを登録することで積極的に参加しており、GENIVI の勢いはとどまることなく加速しています。」と、GENIVI アライアンス常務取締役スティーブ・クランプ氏は語ります。

ボルボ・カー・コーポレーション (Volvo Car Corporation) およびアイゲートパトニ (iGATE Patni) の二社は「コア」メンバーとして最近アライアンスに加入し、CSR も会員の身分をコアにレベルアップしました。コアメンバーとして、ボルボは GENIVI の技術グループにおけるリーダー的立場として提携要件や、GENIVI コンプライアンス・プログラムに組み込まれるソフトウェアコンポーネントの特定に力を発揮しています。

「GENIVI アライアンスの一員になれたことを非常に光栄に存じます」と、ボルボ・カー・コーポレーションの研究開発担当ピーター・メルテンス専務は語ります。「同業者やサプライヤーたちと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。今回の加入を通じて、アライアンスの成功に貢献できればと願っています」

-続く-

先ごろ、5 組の GENIVI メンバーが発表した 9 つの新製品が承認され、現在、GENIVI 順守仕様書リリース 1.0 に準拠していると見なされています。マニエッティ・マレリ(Magneti Marelli)、KPIT クミンズ(KPIT Cummins)、エヌビディア(Nvidia)、ルネサス(Renesas)の全社が届出受理を受け取り、GENIVI 適合製品の数は 18 に達しました。

2011 年 8 月、GENIVI プラットフォームを形作る一連の機能およびコンポーネント要件を定義する GENIVI コンプライアンス・プログラムが発表されました。このプログラムにより、順守型 IVI ソフトウェアプラットフォームの提供において、GENIVI では何が絶対的に必要であると考えているのかが自動車メーカーやそのサプライヤーに明確になりました。

GENIVI コンプライアンス・プログラムの詳細および GENIVI 適合製品の一覧については、<http://www.genivi.org/compliance> をご覧ください。

世界中のエレクトロニクス産業を通じて、アライアンスの成功を推し進めるための新たな基準を打ち立てるべく、GENIVI は先月ラスベガスで開催されたコンシューマ・エレクトロニクス・ショーにショーケース窓口を再度設けました。窓口には 500 名以上の出席者が訪れ、15 組のメンバーによるデモンストレーションをご覧いただきました。

GENIVI アライアンスについて

GENIVI アライアンスは、オープンソース開発の車載用インフォテインメント(IVI:In-vehicle Infotainment)の導入を推進する非営利団体です。GENIVI は、要件を整備し、リファレンス実装を進め、認証プログラムを提供し、活気あるオープンソースの IVI コミュニティを育成することによってアライアンスの目的を遂行しています。GENIVI の取り組みにより、開発サイクルの短縮、製品の市場投入の迅速化、IVI 機器やソフトウェアの開発における企業のコスト削減に繋がります。GENIVI(www.genivi.org)はカリフォルニア州 San Ramon(サンレイモン)に本部を構えています。

###

報道関係者お問い合わせ先－GENIVI:
Craig Miner (クレイグ・マイナー)
1.248.840-8368
Cminer1@att.net